

第12回（令和3年度第1回）浦安市認知症総合施策検討委員会

令和3年6月28日（月）

午後7時～9時

浦安市役所4階S2・3・4会議室

次 第

議 題

1. 令和2年度認知症施策の実施（事業報告）について
2. 令和3年度認知症施策の実施予定について
3. （仮称）認知症条例の制定について
4. 認知症初期集中支援チームの報告について

会議資料

- ・ 令和2年度認知症施策の事業報告 資料 1
- ・ 令和3年度認知症施策の実施事業 資料 2
- ・ (仮称)認知症条例の制定
 - 制定計画(スケジュール) 資料 3-1
 - 第1回ワークショップ 資料 3-2
 - 第2回 " 資料 3-3
 - Uモニアンケート調査結果 資料 3-4
 - 学生企業向けアンケート調査結果 資料 3-5
 - ヒアリング実績 資料 3-6
 - 認知症条例構成(案) 資料 3-7
- ・ 認知症初期集中支援事業
 - 認知症初期集中支援事業 資料 4-1
 - 支援チーム員一覧 資料 4-2
 - 認知症相談件数 資料 4-3
 - 情報提供シート(入力状況) 資料 4-4
 - チーム員会議ケース概要 資料 4-5 (当日配布)

令和2年度認知症施策の事業報告

令和3年6月

I. 認知症総合支援事業*

※介護保険法第115条の45第2項第6号

1 認知症初期集中支援推進事業

(1) 事業内容

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。

(2) 支援チームの設置場所

中央地域包括支援センター

(3) 初期集中支援実績（集計期間：令和2年4月1日から令和3年3月31日）

初期集中支援受理件数	11	
初期集中支援受理理由*	a-①	2
	a-②	3
	a-③	7
	a-④	1
	b	4
チーム員会議開催数	5回	

a. 医療サービス、介護サービスを受けていない者、または中断している者で以下のいずれかに該当する者

- ① 認知症疾患の臨床診断を受けていない者
- ② 継続的な医療サービスを受けていない者
- ③ 適切な介護サービスに結び付いていない者
- ④ 介護サービスが中断している者

b. 医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している者

(4) 浦安市認知症総合施策検討委員会

認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制を構築するとともに、地域の実情に応じて、認知症ケアの向上を図るための取組を推進することを目的として、浦安市認知症総合施策検討委員会を平成29年度に設置した。

委員数	18
会議開催数	2

2 認知症地域支援・ケア向上事業

(1) 事業内容

認知症の容態の変化に応じ、すべての期間を通じて、必要な医療、介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制を構築するとともに、認知症疾患医療センターを含む医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う認知症地域支援推進員を配置し、当該推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図った

(2) 認知症地域支援推進員

13名

月1回認知症地域支援推進員会議を開催し、認知症施策の検討、好事例の共有、認知症ケアパスの作成、小学4年生向け認知症サポーター養成講座の企画及び啓発イベント等を企画。

<配置先>

各地域包括支援センター 1名×3センター、2名×2センター
 市 高齢者包括支援課 3名、(株)舞浜倶楽部（協働事業協定者） 2名、
 (社福)浦安市社会福祉協議会 1名

(3) 活動内容

①アルツハイマー月間における認知症普及啓発

- ・高洲公民館、富岡公民館、当代島公民館でのパネル展示
- ・広報うらやす9月15日号特集記事掲載
- ・ケーブルテレビ「こちら浦安情報局」での本人意見の発信

②認知症ケアパスの活用、見直し

③浦安市医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携

④市（単独）福祉サービス連携

⑤認知症カフェ支援

⑥認知症の人の社会参加活動支援事業（若年性認知症の方のつどい）

開催回数	13回	参加者数（延）	24人
------	-----	---------	-----

⑦初期集中支援チーム連携

⑧高齢者見守り訓練

⑨オンラインによる小学校向け認知症サポーター養成講座の企画

⑩認知症介護者交流会の開催

開催回数	9回	参加者数（延）	26人
------	----	---------	-----

⑪認知症の方の介護者向け講演会開催

Ⅱ. 任意事業*（認知症分）について

※介護保険法第115条の45第3項

1 成年後見制度利用促進事業

市町村申立て等に係る低所得の高齢者に係る成年後見制度の申立てに要する経費や成年後見人等の報酬の助成等を行う。

	申立て		報酬助成	
	件数	金額	件数	金額
平成30年度	4件	51,668円	8件	1,944,715円
令和元年度	6件	63,938円	11件	2,590,000円
令和2年度	6件	38,331円	16件	3,601,506円

2 認知症サポーター養成講座の開催

認知症サポーター養成講座を実施した。市主催として月1回開催したことに加えて、要請に応じて開催した。小学生向け認知症サポーター養成講座は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

	開催数	受講者数
定期開催	7回	45人
小学校	中止	中止
スポット	4回	32人
合計	11回	77人
累計（平成18年度から令和3年3月31日まで）	342回	11,121人

Ⅲ. 認知症の方への支援について（介護保険法に基づくものを除く）

1 「市の重要なお知らせメール」を使用した「行方不明高齢者の早期発見」への取り組み

2 SOS ネットワーク

行方不明高齢者の家族等への普及啓発に努めるとともに、関係機関の連携を強化し、行方不明高齢者の保護情報を一元化することにより、速やかな保護を図る

3 高齢者見守りネットワーク事業

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者などを対象に地域住民や日頃市内を移動している各種事業者が日常生活あるいは日常業務の中で、地域で孤立している世帯等の異変を発見した場合に、市や警察署に連絡していただき、異変の早期発見や行方不明高齢者の早期保護を行うなど、地域の高齢者をさりげなく見守る

令和2年度末登録数	45 事業所
-----------	--------

4 高齢者保護情報共有事業（QRコード®付きラベルシールの配布）

外出して戻れなくなる可能性のある高齢者が、あらかじめ持ち物にQRコード付きのラベルシールを貼っておき、発見通報者がQRコードを読み取ることで、互いの個人情報を開示することなく、インターネット上の伝言板を用いて身元確認や、家族への引き渡しを円滑に行う

令和2年度実績	29 件
---------	------

令和3年度認知症施策の実施事業

令和3年6月

I. 認知症総合支援事業*

※介護保険法第115条の45第2項第6号

1 認知症初期集中支援推進事業

(1) 事業内容

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。

(2) 支援チームの設置場所

中央地域包括支援センター

(3) 浦安市認知症総合施策検討委員会

認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制を構築するとともに、地域の実情に応じて、認知症ケアの向上を図るための取組を推進することを目的として、浦安市認知症総合施策検討委員会を設置する。

委員数	18
会議開催数（予定）	3

2 認知症地域支援・ケア向上事業

(1) 事業内容

認知症の容態の変化に応じ、すべての期間を通じて、必要な医療、介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制を構築するとともに、認知症疾患医療センターを含む医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う認知症地域支援推進員を配置し、当該推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

(2) 認知症地域支援推進員

14名 月1回認知症地域支援推進員会議を開催し、認知症施策の検討、好事例の共有、認知症ケアパスの作成、認知症サポーターステップアップ講座の検討及び啓発イベント等を企画。

<配置先>

高齢者包括支援課 3名

各地域包括支援センター 1名×2センター／2名×3センター

社会福祉協議会（老人福祉センター） 1名

（株）舞浜倶楽部 2名

(3) 活動内容（取り組むべき課題）

・認知症条例制定（ヒアリング・アンケート調査の実施、ワークショップ企画・開催、認知症地域支援推進員会議における条文の検討等）

・本人意見の発信（アルツハイマー月間の周知、動画作成等）

・本人ミーティングの企画・開催

・認知症ケアパスの活用、見直し

・浦安市医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携

・市（単独）福祉サービス連携

・認知症カフェ支援

・認知症の人の社会参加活動支援事業（若年性認知症の方のつどい）

・初期集中支援チームとの連携

・研修

・認知症介護者交流会の開催

・家族等介護者支援

・認知症サポーターの活用（認知症サポーターテップアップ講座含む）の検討

・チームオレンジの検討

II. 任意事業*（認知症分）について

※介護保険法第115条の45第3項

1 成年後見制度利用促進事業

市町村申立て等に係る低所得の高齢者に係る成年後見制度の申立てに要する経費や成年後見人等の報酬の助成等を行う。

2 認知症サポーター養成講座の開催

認知症サポーター養成講座を市主催として月1回開催し、要請に応じて開催する。
今年度は感染症対策を講じ、市内17校小学校4・5年生を対象にした認知症サポーター養成講座をオンラインで実施。企業等が受講した際は、認知症の方にやさしい企業であることを示すステッカーを配布、市ホームページに掲載する。

Ⅲ. 認知症の方への支援について（介護保険法に基づくものを除く）

1 「市の重要なお知らせメール」を使用した「行方不明高齢者の早期発見」への取り組み

2 SOS ネットワーク

行方不明高齢者の家族等への普及啓発に努めるとともに、関係機関の連携を強化し、行方不明高齢者の保護情報を一元化することにより、速やかな保護を図る

3 高齢者見守りネットワーク事業

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者などを対象に地域住民や日頃市内を移動している各種事業者が日常生活あるいは日常業務の中で、地域で孤立している世帯等の異変を発見した場合に、市や警察署に連絡していただき、異変の早期発見や行方不明高齢者の早期保護を行うなど地域の高齢者をさりげなく見守る

4 高齢者保護情報共有サービス（QRコード®付きラベルシールの配布）

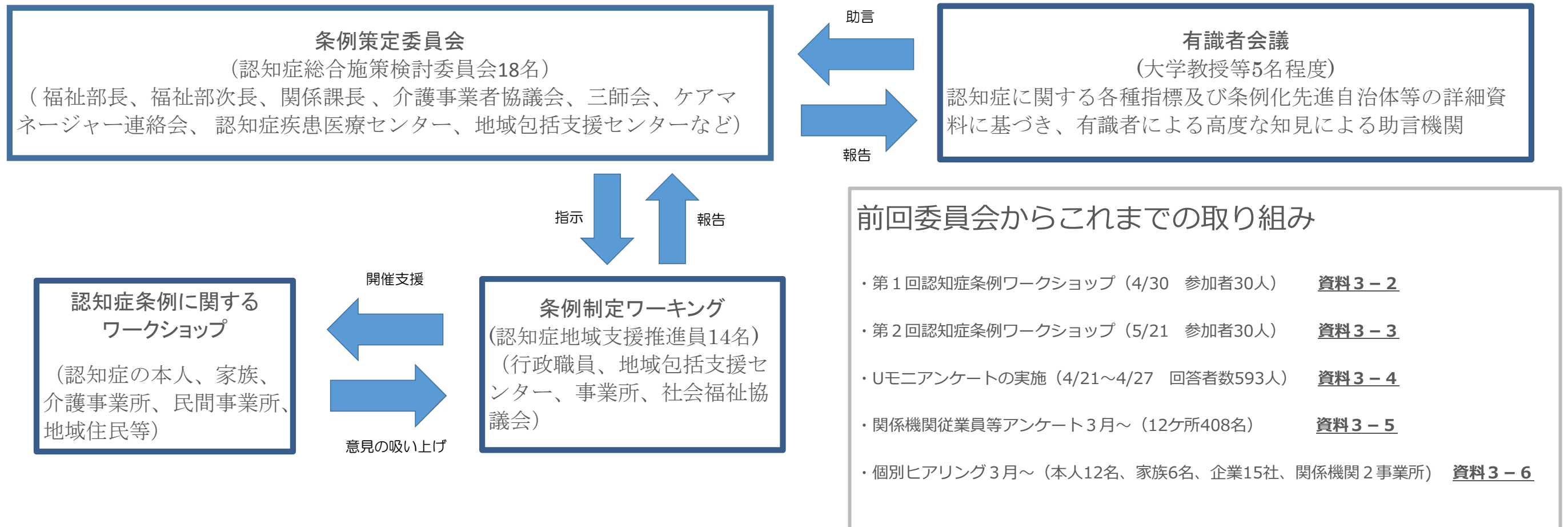
外出して戻れなくなる可能性のある高齢者が、あらかじめ持ち物に QR コード付きのラベルシールを貼っておき、発見通報者が QR コードを読み取ることで、互いの個人情報を開示することなく、インターネット上の伝言板を用いて身元確認や、家族への引き渡しを円滑に行う

(仮称) 認知症条例制定計画(案)

① 条例策定スケジュール

内容	月	備考	2021年												2022年				
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
市長(副市長)調整・報告								有識者会		有識者会	素案報告		有識者会						
認知症地域支援推進員による 条例策定ワーキング	月1回		→																
認知症条例ワークショップ (当事者、家族、関係機関、民間企業参加し、条例)	3回		→	→					→										
認知症総合施策検討委員会 (策定委員会)	3回		→			→		→		→								→	
認知症条例有識者会議	3回						→		→				→						
条例策定					骨子案作成開始	骨子案完成			素案完成				逐条解説作成	議会				シンポジウム	施行
その他			個別ヒアリング	Uモニ									パブコメ						

② 条例策定体制



第 1 回 認知症条例ワークショップ実施概要

実施日時

令和 3 年 4 月 3 0 日（金） 14 : 00 ~ 16 : 00

開催場所

市役所 4 階 S2・3・4 会議室

実施内容

- ・趣旨説明
- ・認知症当事者のお話（動画視聴）
- ・本日来ていただいたご本人からのお話
- ・グループディスカッション
（本人、家族、関係機関等様々な立場の方が混ざったグループ分け）
ディスカッションのテーマの例
 - ▶ 動画や認知症の当事者のお話を聴いた感想
 - ▶ 認知症の私が、自分が認知症になったら、どんな地域だったら暮らしやすいか、安心できるか
 - ▶ 自分にできること
- ・各グループで話し合った内容の共有

参加者（30 人）

内訳	人数	備考
コーディネーター	1	認知症介護研究・研修東京センター 永田久美子氏
認知症の人本人	3	
家族	4	
関係機関	6	
民間事業所	4	スポーツクラブ 1、ホテル 1、小売り業 1、スーパー 1
地域の方	3	浦安介護予防アカデミア傾聴班 2、地域住民 1
事務局	9	認知症地域支援推進員 4、中央地域包括支援センター 1、高齢者包括支援課 4

第 2 回 認知症条例ワークショップ実施概要

実施日時

令和 3 年 5 月 21 日（金） 14 : 00 ~ 16 : 00

開催場所

市役所 4 階 S2・3・4 会議室

実施内容

- ・趣旨説明
- ・前回の振り返り
- ・地域の取り組みの紹介
- ・グループディスカッション
（本人グループ、家族グループのように同じ立場の方同士グループ分け）
ディスカッションのテーマの例
 - ▶ 地域の取り組みを聞いて感じたこと
 - ▶ それぞれの立場で、条例に盛り込みたいことについて
 - ▶ 条例の名称
- ・各グループで話し合った内容の共有
- ・まとめと今後の予定

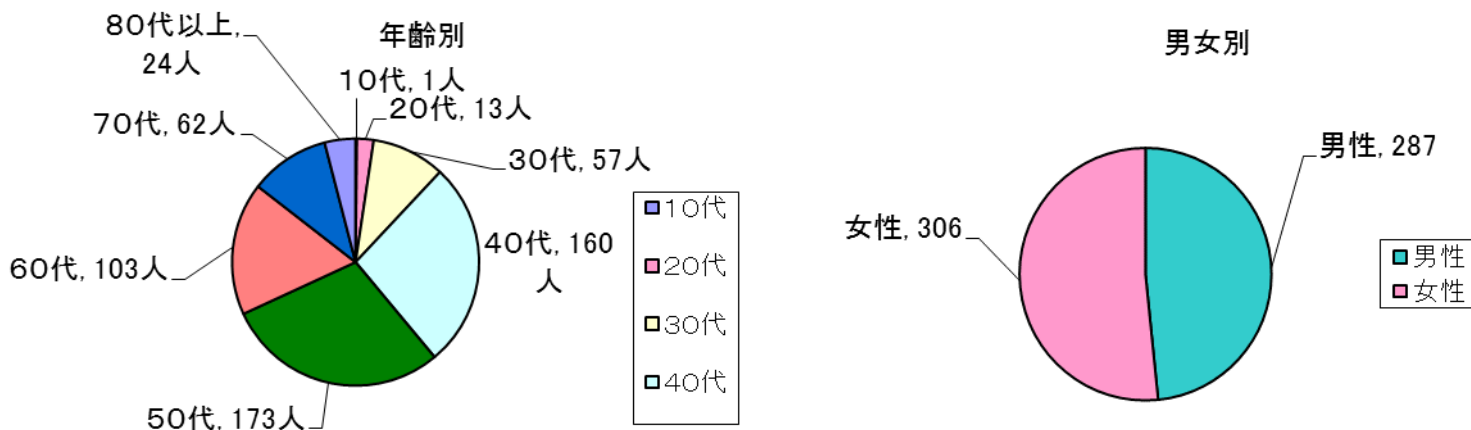
参加者（30 人）

内訳	人数	備考
コーディネーター	1	認知症介護研究・研修東京センター 永田久美子氏
認知症の人本人	5	
家族	4	
関係機関	2	
民間事業所	3	スポーツクラブ 2、ホテル 1
地域の方	5	浦安介護予防アカデミア傾聴班 2、地域サロン関係者 2、地域住民 1
事務局	10	認知症地域支援推進員 5、高齢者包括支援課 5

U モニ アンケート集計結果

第 130 回のテーマは、【認知症のイメージに関するアンケート】でした。

- ◎ 登録者数 1,118 人
- ◎ 実施期間 令和 3 年 4 月 21 日(水)～4 月 27 日(火)
- ◎ 回答者数(回答率) 593 人(53.0%)



問 1. 認知症の方と接したことがありますか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問 1. 認知症の方と接したことがありますか。	1.ある	340	593	57%	
	2.ない	200		34%	
	3.わからない	53		9%	

認知症の方と接したことがあると回答したモニターは 57%、接したことがないと回答したモニターは 34%となりました。

問 2. どのような場面で認知症の方と接しましたか。【複数選択可】

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問 2. どのような場面で認知症の方と接しましたか。 【複数選択可】	1.家族の中に認知症の人がいる(いた)	176	340	52%	
	2.親戚の中に認知症の人がいる(いた)	108		32%	
	3.近所付き合いの中で認知症の人と接した	57		17%	
	4.外出先などで、たまたま認知症の人を見かけた	39		11%	
	5.医療・介護の現場以外の仕事を通じて	30		9%	
	6.医療・介護の現場で働いている(いた)	30		9%	
	7.その他	18		5%	

認知症の方と接したことがあると回答したモニターのうち、家族の中に認知症の人がいる(いた)と回答したモニターが 52%と最も多く、次に親戚の中に認知症の人がいる(いた)と回答したモニターは 32%、近所づきあいの中で認知症の人と接したと回答したモニターは 17%となりました。

問 3. 認知症に対するイメージを3つまで教えてください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問 3. 認知症に対するイメージを3つまで教えてください。	1.物忘れとは異なり、日常生活に支障をきたす	444	593	75%	
	2.外出先から自宅へ帰れなくなってしまう	241		41%	
	3.何もわからなくなってしまう	110		19%	
	4.怒りっぽくなり、暴力・暴言が多くなる	192		32%	
	5.介護施設でサポートを受けながら暮らす必要がある	100		17%	
	6.仕事が継続できなくなる	48		8%	
	7.介護する人の負担が大きい	353		60%	
	8.治療や生活環境によって症状の進行がゆるやかになり、地域での生活を長く続けられる	111		19%	
	9.生活の工夫をしたりサポートがあれば、自分の趣味や仕事を継続できる	86		15%	
	10.わからない	5		1%	
	11.その他	7		1%	

認知症に対するイメージについて、物忘れとは異なり、日常生活に支障をきたすと回答したモニターが 75%と最も多く、次に介護する人の負担が大きいと回答したモニターが 60%、以下外出先から自宅へ帰れなくなってしまうが 41%、怒りっぽくなり暴力・暴言が多くなるが 32%となりました。

問4. 軽度から中等度の認知症の方が暮らす場所のイメージを教えてください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問4. 軽度から中等度の認知症の方が暮らす場所のイメージを教えてください。	1.自宅	437	593	74%	
	2.介護施設	114		19%	
	3.医療機関	5		1%	
	4.わからない	35		6%	
	5.その他	2		0%	

軽度から中等度の認知症の方が暮らす場所のイメージは、自宅と回答したモニターが 74%、介護施設と回答したモニターが 19%と、多くのモニターが、軽度から中等度の認知症の方は自宅で暮らすイメージを持っていることがわかりました。

問5. 中等度から重度の認知症の方が暮らす場所のイメージを教えてください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問5. 中等度から重度の認知症の方が暮らす場所のイメージを教えてください。	1.自宅	58	593	10%	
	2.介護施設	448		76%	
	3.医療機関	49		8%	
	4.わからない	35		6%	
	5.その他	3		1%	

中等度から重度の認知症の方が暮らす場所のイメージは、介護施設と回答したモニターが 76%、自宅と回答したモニターが 10%と、多くのモニターが中等度から重度の認知症の方は介護施設で暮らすイメージを持っていることがわかりました。

問6. あなたが認知症になった場合、どのように暮らしたいと思いますか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問6. あなたが認知症になった場合、どのように暮らしたいと思いますか。	1.認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	88	593	15%	
	2.認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	182		31%	
	3.認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい	66		11%	
	4.認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい	200		34%	
	5.認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい	19		3%	
	6.わからない	29		5%	
	7.その他	9		2%	

自分が認知症になった場合の暮らし方については、認知症になると周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたいと回答したモニターが 34%、認知症になっても医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたいと回答したモニターは 31%となりました。認知症になったときに暮らしたい場所の希望として、地域・介護施設それぞれ同程度の割合であることがわかりました。

問7. あなたが認知症になった場合、周囲に自分が認知症であることを伝えたいと思いますか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問7. あなたが認知症になった場合、周囲に自分が認知症であることを伝えたいと思いますか。	1.伝えてもよい	438	593	74%	
	2.伝えたくない	49		8%	
	3.わからない	106		18%	

自分が認知症になった場合、周囲に認知症であることを伝えても良いと回答したモニターは 74%と最も多く、次にわからないと回答したモニターが 18%、伝えたくないが 8%となりました。

問8. 問7で「伝えたくない」と回答した理由で最も当てはまるものを1つ教えてください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問8. 問7で「伝えたくない」と回答した理由で最も当てはまるものを1つ教えてください。	1. 恥ずかしい	9	49	18%	
	2. 世間体が気になる	8		16%	
	3. 周囲に迷惑がかかる	21		43%	
	4. わからない	5		10%	
	5. その他	6		12%	

認知症であることを伝えたくないと回答したモニターの理由では、周囲に迷惑がかかると回答したモニターが43%と最も多く、次に恥ずかしいと回答したモニターが18%、世間体が気になるが16%となりました。

問9. 周りの人の接し方によって、認知症の症状が改善したり悪化したりすることをご存じですか。

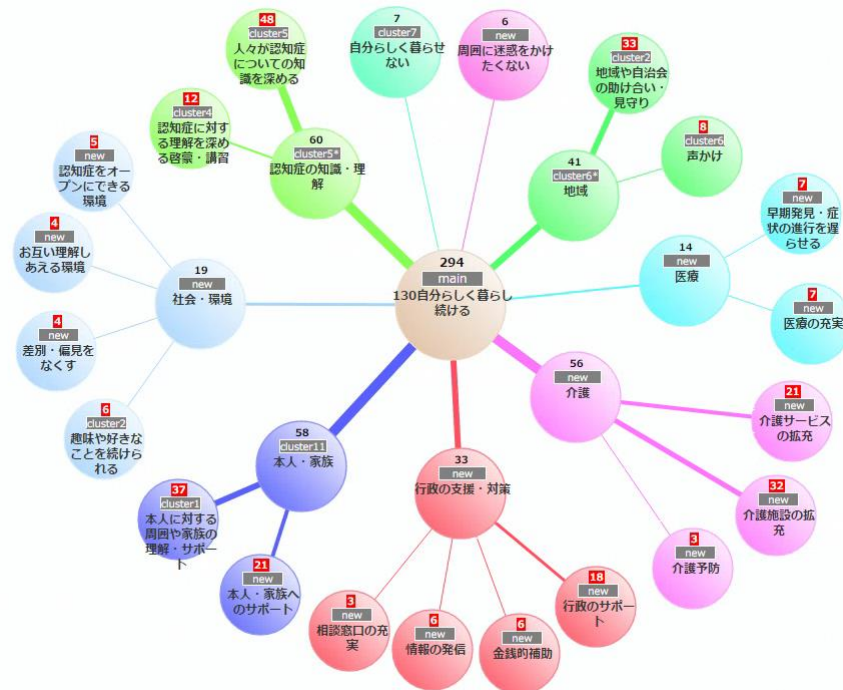
設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問9. 周りの人の接し方によって、認知症の症状が改善したり悪化したりすることをご存じですか。	1. 知っている	385	593	65%	
	2. 知らない	208		35%	

周囲の接し方によって、認知症の症状が改善したり悪化したりすることを知っていると回答したモニターは65%であるのに対し、知らないと回答したモニターは35%となりました。モニターの過半数が、周りの人の接し方によって認知症の症状が改善したり悪化したりすることを知っていることが分かりました。

問10. あなたは認知症になっても自分らしく暮らし続けられる地域にするために、どんなことが必要だと思いますか。ご自由にお書きください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問10. あなたは認知症になっても自分らしく暮らし続けられる地域にするために、どんなことが必要だと思いますか。ご自由にお書きください。	回答あり	365	365	62%	

認知症になっても自分らしく暮らし続けられる地域づくりに関するご意見は、593人中365人(62%)のモニターからいただきました。



認知症の方が自分らしく暮らし続けるには、「周囲のサポートが必要」、「社会が認知症の知識・理解を深める必要がある」等の意見が多く見られました。

また、介護施設の拡充や医療の充実を求める意見も散見されました。

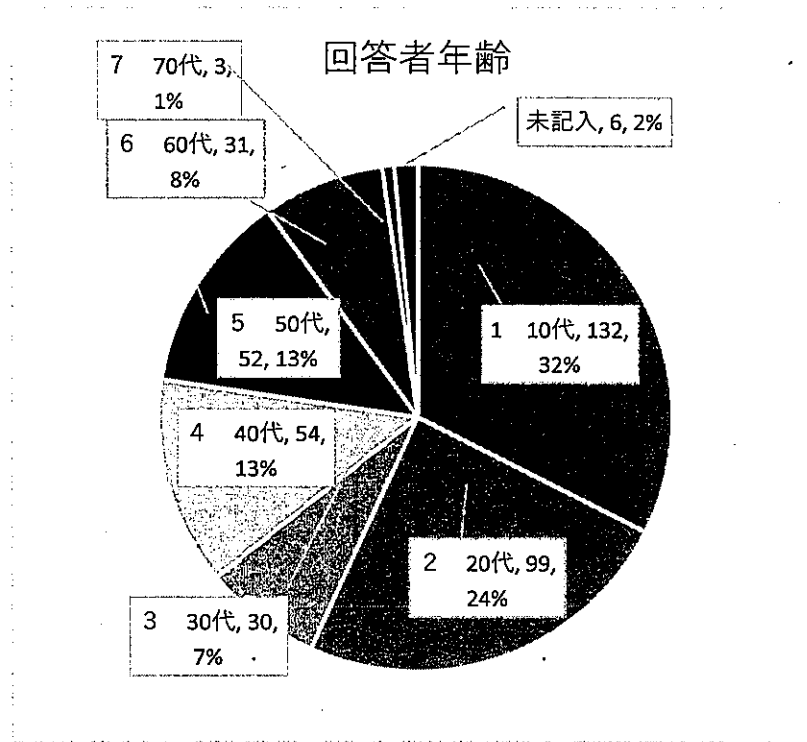
一方で「自分らしく暮らすことはできない」「周囲に迷惑をかけたくない」等の意見もありました。

まとめ

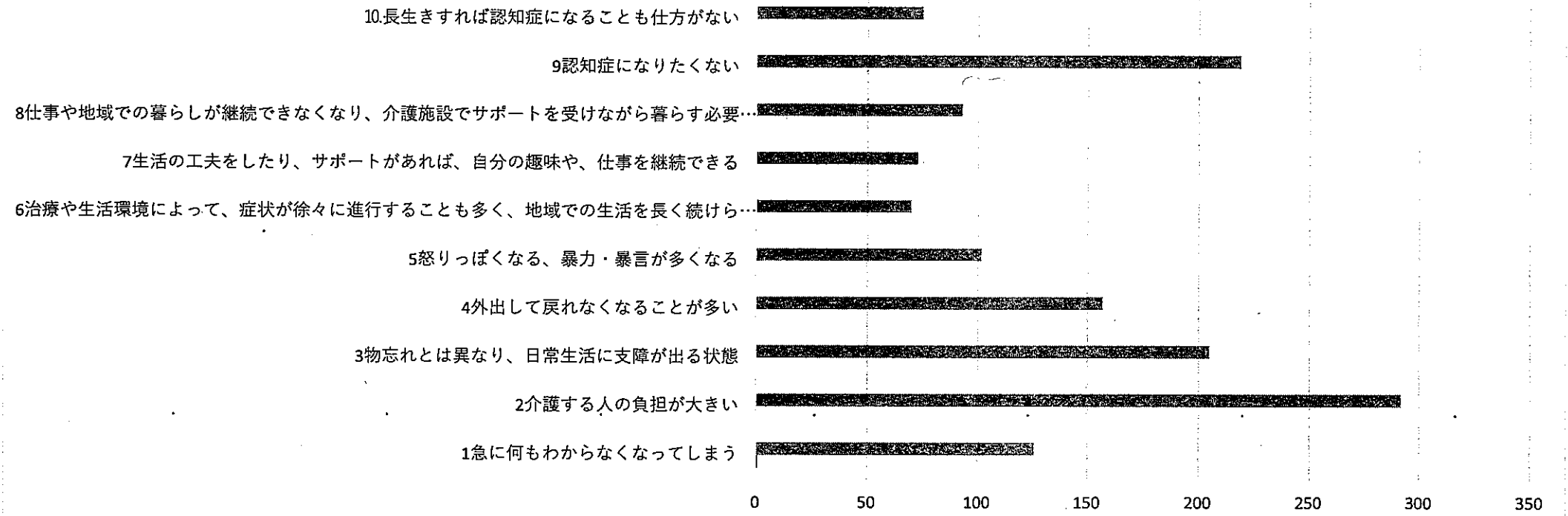
今回のアンケートでは、認知症に対しネガティブなイメージを持っている方もいましたが、多くの方は認知症になっても暮らしやすいまちづくりについて関心を持っていることがわかりました。いただいたご意見を参考とさせていただき、今後の認知症施策を検討していきます。

今後も、「Uモ二」へのご協力をお願いします。

性別	年代												認知症に対するイメージについて										業務中、認知症の方、認知症と思われる方と接する機会がありますか？													
	① 女性	② 男性	未 記 入	1 0 代	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	7 0 代	8 0 代	9 0 代 以上	未 記 入	ま う	① 急 に 何 も わ か ら な く な っ て し	② 介 護 す る 人 の 負 担 が 大 き い	③ 支 障 が 出 る 状 態	④ 物 忘 れ と は 異 な り 、 日 常 生 活	⑤ 多 い	⑥ 外 出 し て 戻 れ な く な る こ と が	⑦ が 多 く な る	⑧ 怒 り つ ぼ く な る 、 暴 力 ・ 暴 言	⑨ れ く 、 地 域 で の 生 活 を 長 く 続 け ら	⑩ 状 が 徐 々 に 進 行 す る こ と も 多 症	⑪ 治 療 や 生 活 環 境 に よ っ て	⑫ 事 を 続 続 で き る	⑬ ト が あ れ ば 、 自 分 の 趣 味 や 、 サ ポ ー 	⑭ が あ る	⑮ ポ ー ト を 受 け な が ら 暮 ら す 必 要	⑯ で き な く な り 、 介 護 施 設 で サ 	⑰ 仕 事 や 地 域 で の 暮 ら し が 続 続	⑱ 認 知 症 に な り た く な い	⑲ と も 仕 方 が な い	⑳ 長 生 き す れ ば 認 知 症 に な る こ	㉑ た び た び あ る	㉒ た ま に あ る
件数																																				
学生	163	80	79	4	97	61	1	0	0	0	0	0	4	59	112	77	65	42	21	24	36	65	19	6	9	148										
	31	15	15	1	30	0	0	0	0	0	0	0	1	20	16	16	10	3	2	3	4	13	3	1	1	28										
交通機関	35	4	30	1	0	1	4	11	11	8	0	0	0	1	27	13	11	8	4	6	6	22	6	0	4	30										
	24	9	15	0	1	12	6	5	0	0	0	0	0	7	15	9	8	2	5	5	0	17	2	1	13	10										
	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0										
スーパー	30	4	26	0	0	0	1	6	9	11	3	0	0	4	20	12	12	4	4	1	11	17	7	1	12	17										
	10	5	5	0	0	5	1	4	0	0	0	0	0	3	7	7	2	2	0	1	1	5	2	0	0	10										
スポーツ クラブ	69	57	11	1	1	9	9	17	24	9	0	0	0	26	60	50	42	33	22	19	28	52	26	4	22	40										
	24	16	8	0	3	8	4	7	1	0	0	0	1	4	16	12	5	5	5	2	6	17	1	0	8	16										
金融機関	5	4	1	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	4	2	0	3	1	0	1	2	1	2	7	1										
	6	3	2	1	0	1	0	2	2	1	0	0	0	1	7	3	1	0	3	6	0	4	4	2	4	0										
関係機関	10	7	3	0	0	2	2	0	3	2	0	0	0	1	7	3	1	0	3	6	0	4	4	2	7	1										
	408	204	196	8	132	99	30	54	52	31	3	0	0	6	126	292	205	157	102	70	73	93	219	75	19	88	301									



認知症に対するイメージについて



認知症条例構成（案）

前文	
目的	正しい知識の普及啓発により認知症の理解を広める（イメージを変える）
定義	認知症、中核症状、行動・心理症状、予防、備え、家族等、市民、関係機関、事業者
基本理念	認知症の人の意思の尊重、社会参加 家族等がおいて行かれないように 認知症の人と家族を包摂できる地域
各機関の役割	市の責務、本人の役割、家族等の役割、関係機関の役割、事業所の役割、市民の役割
認知症施策推進体制	本人の社会参加と地域づくりの支援、家族の支援、認知症施策推進計画、認知症総合施策検討委員会、医療介護連携、介護従事者の資質向上、意思決定支援、成年後見制度